

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	基本計測				
履修年次	2年次	履修学期	4月～7月、9月～12月	授業形態	実習
総 時 限	18時限	単位時間数	36時間（1.2単位）		
教科書等 持参品	教科書(2級ガソリン・ディーゼル、2級自動車シャシ、整備機器)				
教科担当	・ 皆川 幸正・ 榊原 友紀・ 伊藤 太・ 大和田 英彦・ 岡崎 英貴・ 三島 哲・ 須藤 裕幸 ・ 中森 和智・ 佐藤 信也・ 我妻 孝・ 吉田 直人				
目 的	・ 各エンジン部品の計測を正確にできるようになる。 ・ 各シャシ部品の計測を正確にできるようになる。 ・ 作業においての安全に関する知識を習得する事ができる。				
概 要	項 目				時 限
	・ エンジンの各部品計測作業				14
	・ M/T、D/F、ステアリング装置の計測作業				4
到達目標	・ スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジについて理解でき、シャシ装置やエンジン各部品を正しく計測ができる。				
使用教材	・ スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジ				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点： 5 84～65点： 4 64～50点： 3 合 格 49～30点： 2 29～ 0点： 1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	シャシ				
履修年次	2年次	履修学期	5月～7月、9月～11月	授業形態	実習
総 時 限	115時限	単位時間数	230時間（7.6単位）		
教科書等 持参品	教科書(2級ガソリン・ディーゼル自動車シャシ編)、赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・ 皆川 幸正・ 榊原 友紀・ 伊藤 太・ 大和田 英彦・ 岡崎 英貴・ 三島 哲・ 須藤 裕幸 ・ 中森 和智・ 佐藤 信也・ 我妻 孝・ 吉田 直人				
目 的	・ 4 A T、C V Tを分解、組立が出来、構造を理解できる。 ・ エア式・複合式ブレーキ装置の構造・作動を理解する。 ・ 全浮動式アクスルの構造を理解できる。 ・ マニュアルトランスミッション及びシンクロ機の構造・作動を理解する。				
概 要	項 目				時 限
	・ 4 A T、C V T、M/T、D/Fの分解、組付け、M/Tの脱着				55
	・ タイヤの組み換え、バランス調整作業				8
	・ エアサスペンションの分解、組付け				8
	・ ブレーキバルブ、ブレーキチャンバ、リレーバルブ分解、組付け				4
	・ エアコンディショナー整備				8
	・ 全浮動式ハブの分解、組付け				8
	・ パワーステアリング(油圧式・電動式)の分解、組付け				8
	・ ホイールアライメントの測定、調整				8
	・ 二輪車の車体整備				8
到達目標	・ 電子制御式オートマチック・トランスミッションの構造及び作動理解ができる。 ・ エア式ブレーキ、A/T、M/T、D/Fの構造・作動を理解できる。 ・ ブレーキ分解組立作業を通じて、安全かつ正しい作業工程を理解できる。 ・ 実際の職場環境同様、誰とでも安全かつ迅速に正しく作業ができることを目指す。				
使用教材	・ トランスミッション(4AT・CVT) ・エアブレーキ装置一式、乗用車、トラック ・ ステアリングギヤボックス(油圧式・電動式)・貨物車(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合 格 49～30点：2 29～ 0点：1 不 合 格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	電装				
履修年次	2年次	履修学期	4月～6月、10月～12月	授業形態	実習
総 時 限	34時限	単位時間数	68時間（2.2単位）		
教科書等 持参品	教科書(2級ガソリン・ジーゼル自動車エンジン編、2級ガソリン・ジーゼルエンジン編) 赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・ 皆川 幸正・ 榊原 友紀・ 伊藤 太・ 大和田 英彦・ 岡崎 英貴・ 三島 哲・ 須藤 裕幸 ・ 中森 和智・ 佐藤 信也・ 我妻 孝・ 吉田 直人				
目 的	・ 車両に関する電気装置の脱着が出来る。(パワーウィンド・レギュレータ脱着) ・ 配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。 ・ オルタネータの脱着が車上でできる。ラジエータ脱着、L L C交換など付随する作業も含む				
概 要	項 目				時 限
	・ 車両ドア分解、レギュレータ脱着				4
	・ エアバック、ステアリングコラム分解				6
	・ 配線図を見ながら実車の各配線の点検、確認				8
	・ 実習車よりオルタネータ脱着				4
	・ 実習者よりスタータ脱着				4
	・ 電子ブロック、サーキットテスターを使用して、電装品を理解する				8
到達目標	・ 配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。 ・ 部品の脱着を通じて車両を取扱う上での注意点、車両チェックをマスターする。				
使用教材	・ サーキットテスタ・スタータ・オルタネータ・オシロスコープ・電気配線図集 ・ 電子ブロック・実習車両(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点： 5 84～65点： 4 64～50点： 3 合 格 49～30点： 2 29～ 0点： 1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	エンジン				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総 時 限	74時限	単位時間数	148時間（4.9単位）		
教科書等 持参品	教科書(2級ガソリン・ディーゼル自動車エンジン編)、赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・ 皆川 幸正・ 榊原 友紀・ 伊藤 太・ 大和田 英彦・ 岡崎 英貴・ 三島 哲・ 須藤 裕幸 ・ 中森 和智・ 佐藤 信也・ 我妻 孝・ 吉田 直人				
目 的	・ エンジンの種類の違いを学び、主要部品の名称・役割がわかる ・ エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを学ぶ。 ・ 分解時、諸注意に気を付けて行動が出来る。				
概 要	項 目				時 限
	・ 水平対向エンジン（OHV）分解、組付け				10
	・ ガソリンエンジンの分解、組付け				10
	・ ディーゼルエンジン（OHV）の分解、組付け				10
	・ ディーゼルエンジン（バランスシャフト）の分解、組付け				10
	・ V6エンジンの分解、組付け				8
	・ ダイハツ軽自動車のエンジン分解、組付け				8
	・ 水平対向エンジン（DOHC）の分解、組付け				10
	・ スズキ軽自動車エンジンの分解、組付け				8
到達目標	・ 分解作業によりエンジンの構造を理解する。 ・ 分解上の諸注意に気を付け安全配慮が出来る。 ・ エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを理解する。				
使用教材	・ 水平対向エンジン ・ ディーゼルエンジン ・ ガソリンエンジン ・ V6エンジン				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点： 5 84～65点： 4 64～50点： 3 合 格				
	49～30点： 2 29～ 0点： 1 不 合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	故障探求				
履修年次	2年次	履修学期	7月、9月	授業形態	実習
総 時 限	20時限	単位時間数	40時間（1.3単位）		
教科書等 持参品	教科書(2級ガソリン・ディーゼル自動車エンジン編、2級ガソリン・ディーゼルエンジン編、自動車の故障と探求)				
教科担当	・ 皆川 幸正・榊原 友紀・伊藤 太・大和田 英彦・岡崎 英貴・三島 哲・須藤 裕幸 ・ 中森 和智・佐藤 信也・我妻 孝・吉田 直人				
目 的	・ 故障診断が的確に出来るよう理解する。				
概 要	項 目				時 限
	・ 故障診断の進め方（効率的な診断・診断の基本）				3
	・ 故障診断の進め方（原因の推定）				2
	・ 故障診断の点検方法（エンジン・シャシ）				3
	・ 故障診断の点検方法（外部診断機OBD）				3
	・ 故障診断の点検方法（外部診断機を使用した点検）				3
	・ 故障診断の点検方法（各センサーの単体点検）				3
	・ 故障診断システムの点検				3
到達目標	・ エンジン各部の構造、作動を理解する。 ・ 効率的な診断を心がけると共に診断の基本について理解する。 ・ 電子制御の各センサーの作動を理解し点検ができる。				
使用教材	・ サーキットテスタ・オシロスコープ・外部診断機・電気配線図集・実習車両(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合 格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科 名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科 目 名	定期点検・検査				
履修年次	2年次	履修学期	4月～5月、7月、11月～12月	授業形態	実習
総 時 限	30時限	単位時間数	60時間（2単位）		
教科書等 持参品	教科書(自動車定期点検整備の手引き、法令教材)、赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・ 皆川 幸正・ 榊原 友紀・ 伊藤 太・ 大和田 英彦・ 岡崎 英貴・ 三島 哲・ 須藤 裕幸 ・ 中森 和智・ 佐藤 信也・ 我妻 孝・ 吉田 直人				
目 的	・ 道路運送車両法の点検及び整備、検査を理解する。 ・ 定期点検（法定点検、新車点検）の必要性を理解する。 ・ 自動車点検基準に合わせて整備内容を習得する。 ・ リフトでの上げ下げの声だしが自然にできるようにする。 ・ 自らが作業の効率を上げるために、考えられるよう意識させる。				
概 要	項 目				時 限
	・ 点検と検査の違い 受入(点検)－法定点検－引渡 を理解する。				2
	・ 12ヵ月点検の実施要領、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				12
	・ 24ヶ月点検の実施、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				12
	・ 検査ラインで保安基準適合確認				4
到達目標	・ 法定 点検を決められた時間で、確実にこなせるようにする。(車両が変わっても行える) ・ 自らが作業の効率を上げるための行動が出来るようにする。 ・ 定期点検記録簿が、漏れなく記入できるようにする。				
使用教材	・ 実習車両(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点： 5 84～65点： 4 64～50点： 3 合 格 49～30点： 2 29～ 0点： 1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				